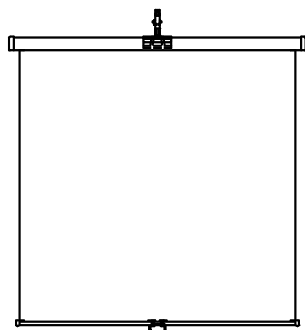
OS SCREEN

KK 回転傾斜式スクリーン(R タイプ)
KA 回転式スクリーン(R タイプ)



設置・取扱説明書

はじめに

- 製品が間違っていないか、付属品がきちんとそろっているか、お確かめください。
- 設置するにあたり、KY シリーズパイプセットを別途購入してください。
- この説明書と添付の保証書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
  そのあと大切に保管しておいてください。
- 製造番号は品質管理上重要です。必ず製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日、取扱店名」等の記入をお確かめください。

お使いいただく前に

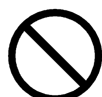
スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。
臭いが強い場合はスクリーンをお使いにならない時にも、スクリーンを引き出した状態で継続して換気をおこなってください。（臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。）

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示欄の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人的障害や物的障害の可能性があります。

⚠ 警告


禁止

スクリーンを無理に引き出さない

本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。


分解禁止

分解はしない

分解やねじ類をゆるめると、本体の脱落の恐れがあります。修理や点検は、取扱店または当社に相談してください。


ぶらさがり禁止

スクリーンにぶらさがったり、物を掛けたりしない

本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。

⚠ 注意


強制

使用する際は必ず運用責任者や管理者等の指示に従い行う

使用方法、安全項目等を十分把握せずに使用すると、思わぬ事故の恐れがあります。


強制

使用後は必ずスクリーンを本体に収納する

長時間引き出したままにすると、スクリーンが脱落する恐れがあります。

取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

KKR10514

お取扱上の注意

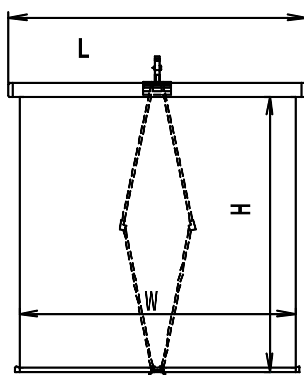
この製品は映写効果を上げるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上ていねいにお取り扱いください。

- スクリーン表面には手を触れないでください。
- スクリーン上に文字や絵を描いたりしないでください。
- 固い物でスクリーンをこすったり、ひっかいたりしないでください。
- 表面のホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふくか柔らかいブラシで払ってください。
  水で湿らせた布やベンジン、シンナーなど薬品類は絶対に使用しないでください。

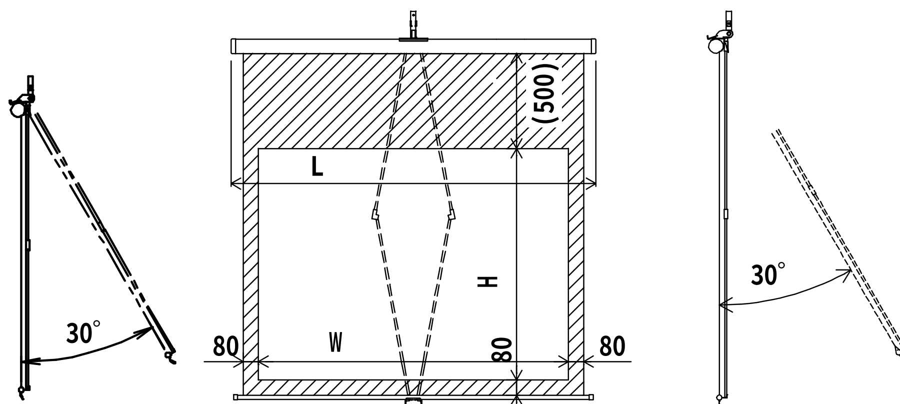
※ スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。臭いが強い場合はスクリーンをお使いにならない時にも、スクリーンを引き出して継続して換気をおこなってください。

仕　　様

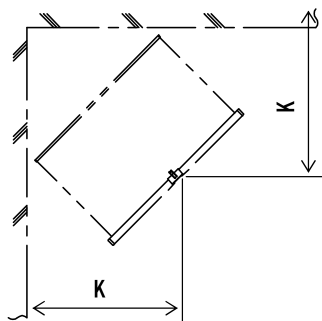
●KK-1515R・KK-1818R



●KK-080VR・KA-080VR



傾斜装置固定部より壁面まで最低必要寸法

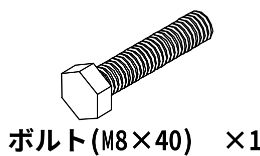


KA タイプには傾斜装置がありません。

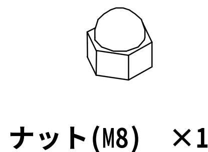
型　式	サイズ W×H(mm)	全　長 L(mm)	質　量 (kg)	K寸法 (mm)
KK-1515R	1500×1500	1615	9.0	1300
KK-1818R	1800×1800	1915	10.0	1500
KK-080VR	1626×1219	1915	10.0	1500
KA-080VR	1626×1219	1915	9.0	ー

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

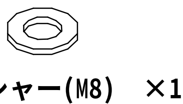
付 属 品 の 確 認



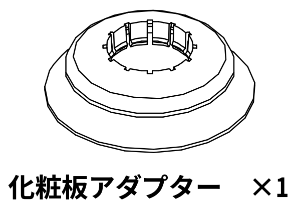
ボルト(M8×40)　×1



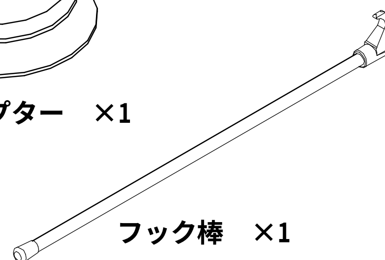
ナット(M8)　×1



ワッシャー(M8)　×1



化粧板アダプター　×1

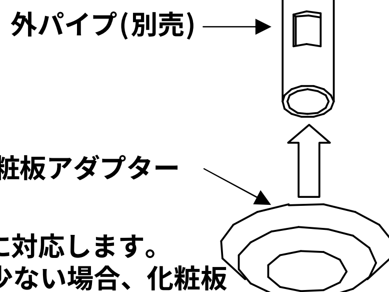


フック棒　×1

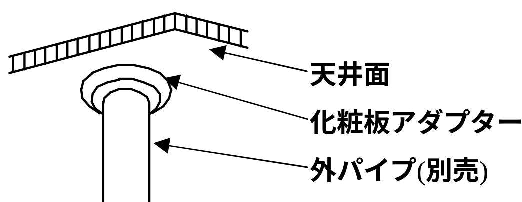
スクリーン本体と外パイプの接続方法

※外パイプ(KY シリーズパイプセット)は別途購入してください。

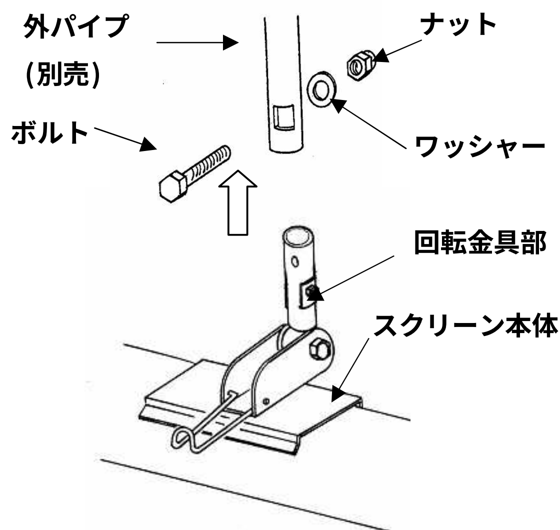
1．外パイプに化粧板アダプターを挿入し、天井面までスライドさせて取り付けます。



※天井面 15°までの傾斜に対応します。
※本体と天井面の隙間が少ない場合、化粧板アダプター下部のみの使用も可能です。



2．確実に本体回転金具部を外パイプに差し込み、ボルト・ナット・ワッシャーで確実に固定します。



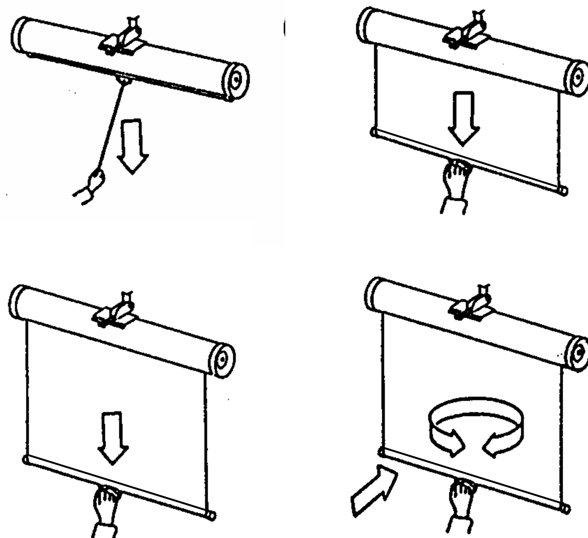
使 用 方 法

1．スクリーンを使うとき

1) 付属のフック棒でスクリーンを引き出し、手が届く位置まで下げたらあとは手で引き出します。

2) KK タイプはスクリーンを引き出していくと少し重くなりますが、そのまま引き出せなくなるまでスクリーンを引き出してください。その時点で手を離すと所定の位置で停止します。次に所定の位置にスクリーンを回転させます。

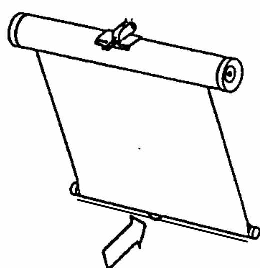
KA タイプはスクリーンを下げ、所定の位置で手を離します。

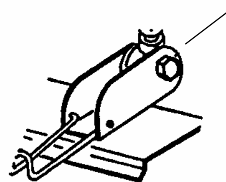


3) 後方へスクリーンを押し、所定の位置まで傾斜させます。傾斜装置は 30°まで傾斜できるようになっています。
* KA(傾斜機能無)タイプはこの作業は必要ありません。

⚠ 警 告

必ずスクリーンが降りきった状態で傾斜させてください。また、30°迄傾斜させると傾斜方向に動かせなくなります。それ以上無理に傾斜させようとしないでください。脱落の恐れがあります。



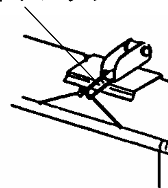


※傾斜装置は調整済みになっていますが、ディスクブレーキの効き具合を強くしたい場合は傾斜装置ボルトを締めてください。

⚠ 警 告

ディスクブレーキを強く締め付けすぎると傾斜できなくなり、脱落の恐れがあります。

●必要に応じて地図掛けフックに地図等を掛けることができます。



⚠ 警 告

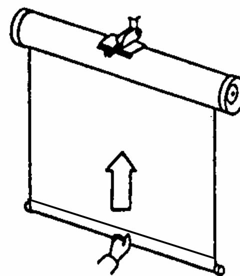
使用する地図等は５kgf 以内とし、掛けた地図等をひっぱったりしないでください。脱落の恐れがあります。

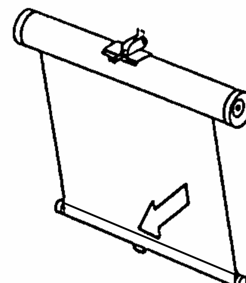
2．スクリーンを収納するとき

1) 傾斜しているスクリーンを垂直の位置に戻します。
※ KA(傾斜機能無)タイプはこの作業は必要ありません。

2) KK タイプはスクリーンを少し持ち上げてストッパーを外します。次に手の届く位置まで手を添えて巻き戻しあとは手を離して自然に巻き取らせます。

ソフトワインド（緩衝装置）付きはスクリーンを手で軽く引き下げてストッパーを外し、あとは手を離して自然に巻き取らせます。





KA タイプはスクリーンを手で軽く引き下げてストッパーを外し、あとは手の届く位置まで手を添えて巻き戻し、手を離して自然に巻き取らせます。

保証書

品名 回転傾斜式スクリーン/回転式スクリーン

ご購入 年月日	取扱店 住所／TEL

保証期間 ご購入の日より	本体　１ヵ年

1.保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1)この保証書のご提示がない場合。
(2)保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3)ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5)火災や天災等による故障および損傷。
(6)消耗品および付属品の交換の場合。
(7)スクリーン表面の汚れ・損傷に関する修理。
2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。

■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

※　この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、 取扱店または下記コンタクトセンターまでお問い合わせください。

株式会社オーエス
株式会社オーエスプラスe

コンタクトセンター

〒120-0005　東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL：0120-380-495　FAX：0120-380-496

(受付時間：平日 9：00～18：00　※土日祝日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。

TEL：03-3629-5211　FAX:03-3629-5214